

りんどう新品種（奨励）

りんどう「アルタ」

（園試 南部分場）

## 1. 来歴

岩手園試南部分場において、従来の品種より開花期の遅い極晩生種の開発を目的に、昭和63年鳥取産選抜系を母親、九州産選抜系を父親として交配・育成した。

なお、平成4年に品種の登録申請を行っている。

## 2. 特性の概要

開花期は、県南部沿岸地域（陸前高田市付近）の露地栽培で10月中～下旬である。

草丈は100～110cmで、茎の太さは中程度で強い。茎の色は黒紫色である。

実生3年株の立茎数は、9本前後で側枝が若干発生する。

花冠内面上部の色は青紫色を呈し、外面の縞模様は紫褐色である。

また、高温時には花冠先端が外反転する。

花段数は6～8段で、全体が一斉に開花する。

## 3. 奨励品種に採用する理由

「アルタ」は県内で育成されたりんどう品種の中で最も開花期が遅く、「アルビレオ」に比較しても15日程度遅い特性を有している。

このため、当該品種の導入により岩手りんどうの採花期間の延長が可能となり、栽培上有利性が認められることから奨励品種としたい。

## 4. 適応地域

高冷地を除く県下全域（露地普通栽培）

## 5. 栽培上の留意点

一代雑種のため、採り返しの種子は利用できない。

開花期が遅いため、霜等により品質が低下することがあるので注意する。

積雪の少ない地域では寒害を受けやすいので、大苗育苗や早期定植により、年内の株の充実に努める。

6. 試験成績概要

特性調査 (平成3年)

項目 品種名	開花期 (月/半旬)	開花順序 (上中下全)	花冠の色		花冠先端 の転回
			花冠内面 上部の色	花冠外面 の色	
アルタ	10/3~10/4	全	青紫	鮮青紫	外反転
アルビレオ	9/6~10/1	全	鮮青紫	暗青紫	外反転

花冠外面の縞模様		花冠内面中部 の斑点 (多中少無)	花段数 (実数) (段)	花数の多い 位置 (上全下)	草丈 (実数) (cm)	茎の太さ (太中細)
有無	色					
有	紫褐	少	6.7	上	107	中
有	濃青紫	中	7.8	全	143	太

茎の強さ (強中弱)	茎の色 (緑中黒)	節間長 (長中短)
強	黒~中	中
強	黒	中

注)  
 開花期: 全体の50%程度開花した時期  
 花 色: 日本園芸植物標準色票による  
 茎の太さ: 草丈の1/2の位置  
 茎の 色: 上部の位置  
 節間長: 上部(2/3付近)の位置